ホーム

家

アトラクターフレームワーク：摂動下における持続性

このフレームワークとは何ですか?

このサイトは、シンプルながらも強力な原理に基づいた統一的なアトラクター・フレームワークを提示します。その原理 とは、摂動下における持続性 こそが現実の根本的な特徴であるというものです。粒子、習慣、社会、精神など、持続するものはすべて、崩壊に抵抗する構造です。このフレームワークは、自然主義的な存在論、精神のスペクトル的視点、空想的なアトラクターへの批判、そして自己工学、意識、社会認識論に関する検証可能な予測を提供します。

持続性の2つの分類

永続的な構造はすべて、2つの動的クラスに分類されます。

- 保存的持続構造（永遠の骨格）： 時間対称性を持ち、意識を持たず、保存則によって保護されている。例：電子、陽子、ニュートリノ、光子、粒状のプランク床。これらは老化せず、学習せず、時間測定の基準となる不変のリズム（メトロノーム）を提供する。
- 散逸型アトラクター（一時的なダンス）： 時間的に非対称であり、継続的なエネルギーの流れとエントロピーの放出を必要とする。例：生細胞、生態系、人体、意識、社会、経済、さらには信念体系。これらは誕生し、しばらく存続し、適応し、最終的には衰退する。

観察されるすべての精神は散逸的である。宇宙全体は、外部環境から切り離された孤立したシステムであり、したがって精神ではない。

なぜこれが重要なのか

この枠組みは、二元論や還元主義を用いることなく、心身問題を解決する。心は幽霊でも機械仕掛けでもなく、 身体全体の、実体を持たない動的なパターン（アトラクター）である。この見解は、神経科学、物理学、情報理論と両立しつつ、意識体験の統一性を保つ。

これは社会認識論の診断ツールとしても役立つ。 空想的アトラクターは 修正の透過性が低い信念体系であり、矛盾する証拠に直面しても更新を拒む。一方、共有現実アトラクターはエラー信号を受け入れやすい。したがって、この枠組みは認識論を動的に再構築する。問題は

[illegible]

[illegible]

[illegible]

1. [illegible]
https://fantasyattractor.com/persistence-under-perturbation-the-eternal-skeleton-and-the-transient-dance/
[illegible]

2. [illegible]
https://fantasyattractor.com/metronome-memory-and-the-sixfoldanchor-a-relational-account-of-time-in-theattractor-framework/
[illegible]6[illegible] — [illegible]3[illegible]

3. [illegible]
[illegible] P[illegible]x[illegible]
[illegible]*P* (*x*) [illegible]
[illegible]https ://fantasyattractor.com/the-persistence-functional-towards-amathematical-measure-of-attractorresilience/

4. [illegible]
https://fantasyattractor.com/attractor-dynamics-in-belief-formation-correctionand-mental-health-a-research-programme/
[illegible]N=1 [illegible]

5. [illegible]
https://fantasyattractor.com/free-will-as-attractor-autonomy-a-dynamical-account-of-agency-in-theattractor-framework/
[illegible]U[illegible]

こちらもおすすめ

創世記の宇宙論
https://fantasyattractor.com/the-cosmology-of-genesis/
ヘブライ語聖書における平面地球、固体ドーム、宇宙の海に関する文献学的および解釈学的考察。聖書の著者が地球を固体の天空ドームの下にある平らな円盤として理解していたことを示し、古代のファンタジー・アトラクターの事例研究となる。

睡眠をアトラクターの維持として捉える：グリンパティッククリアランス、シナプス再スケーリング、および動的回復力
https://fantasyattractor.com/sleep-as-attractor-maintenance-glymphatic-clearance-synaptic-rescaling-and-dynamical-resilience/
睡眠にアトラクターフレームワークを適用します。深いノンレム睡眠はゆっくりとした制約緩和（ハードウェアメンテナンス）であり、レム睡眠は高速で高次元のアトラクター（ソフトウェアメンテナンス）であると提案します。持続性機能と修正透過性を定量的な睡眠健康バイオマーカーとして紹介します。

著者について

ロバート・ガリダは独立研究者です。彼は、哲学的探究、システム理論、そして彼自身のN=1自己工学実験（ECM修復、睡眠最適化、HRV追跡）を組み合わせることで、数十年にわたりアトラクターフレームワークを開発しました。彼は引退した建設クレーンオペレーターであり、持続的なダイナミクスに長年関心を持っています。

編集